JAXAタウンミーティング

11月7日、高知工科大学で、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の県内初のタウンミーティングが、同大の開学記念行事として開催されました。

約500人が参加し、JAXAと同大の研究者4人から、日本の宇宙開発技術が紹介されました。

定住自立圏形成協定締結

10月6日、香美市は、高知市・南国市・香南市と、総務省が進めている定住自立圏構想に基づき、定住自立圏形成協定を締結しました。

この協定は、4市の連携により、都市部への人口流出を防ぐことを目的としています。

4市は、12月に定住自立圏共生ビジョンを作成し、これにより、おおむね5年間、高知市に年間約4，000万円、他の3市にそれぞれ年間約1，000万円の特別交付税が交付される予定です。

ほっきーの館オープン

11月7日、甫喜ヶ峰森林公園（土佐山田町平山）に新しく研修棟が完成し、記念式典が行われました。研修棟は、県産材を用いた木造平屋建てで、応募により、**ほっきーの館**と名づけられました。

▲木の実のお弁当

記念式典の後、同館で、**はじめての森あそび**が開催され、親子ら約75人が、落ち葉や木の実でお弁当を作り、色とりどりの弁当に思わず「おいしそ〜」と声がこぼれていました。

情報交流館祭り

11月28日、県森林総合センター情報交流館（土佐山田町大平）で**こうち山の日・情報交流館祭り**が開催されました。

会場では、木工教室や、昔遊びを楽しむコーナーが設けられました。また、間伐材を用いたドミノ倒しや、丸太切り体験、木の魚釣りが行われました。

▲小型冷凍庫

イベントでは、『知恵袋の会』（尾崎満会長）が、コミュニティ助成事業※の助成を受けて整備した、テント11張、野外かまど6個、小型冷凍庫1台が使用されました。

※（財）自治総合センターが宝くじの普及広報事業の一環として、自治会などが実施するコミュニティ活動へ助成を行っているものです。

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

参勤交代の道を行く！

11月14日、**『歩き、み、ふれる歴史の道』北山道大会**が開催され、約70人が参加しました。

赤荒峠をスタートし、国見峠から仁井田神社（本山町）を目指しました。この道は、6代目土佐藩主である山内豊隆が参勤交代の道として使い始めた道で、行列は多いときには、2，500人におよぶこともあったといわれています。

参加者は歴史に思いを馳せながら、また遠くの山並を眺めながら、それぞれの参勤交代道を楽しみました。

平成22年秋の叙勲

平成22年11月3日発令の秋の叙勲の市内の受章者を紹介します。

瑞宝双光章　元公立小学校長（教育功労）

昭和31年4月から香美市内の小学校で教員を務められ、平成8年3月に、楠目小学校校長を最後に定年退職されました。平成12年4月に旧土佐山田町の教育長に就任し、合併後、香美市教育長に就任し、平成20年3月に退職されるまで、地域教育の発展に貢献されました。

原（はら） 初恵（はつえ）さん（74歳）土佐山田町神母ノ木

協働の森づくり地域間交流事業開催！

香美市と**環境先進企業との協働の森づくり事業**のパートナーズ協定を締結している三企業（ルネサスエレクトロニクス、高知工科大学・高知工科大学後援会、セントラルグループ）によって、地域交流事業が開催されました。

クマザサの除去作業

▲高知工科大学物部川共生の森

11月3日、高知工科大学の学生および教職員19人が、物部町の矢筈山登山道（矢筈山〜小檜曽山）の清掃活動を行いました。清掃活動では、先の10月29日に、物部森林組合が刈り払いしたクマザサの除去作業を行いました。

木エクラフトの制作

▲ルネサスフォレストランド2010

10月16日、香北町谷相のルネサスの森で、『ルネサスフォレストランド2010』が開催され、52人が参加しました。参加者のうち、大人は間伐作業を、子どもは下草刈りの体験や、木エクラフトの制作を行いました。

豆腐造り体験

◀セントラルグループ香美市物部の森2010

11月27日、物部町久保光石の市有林において、間伐体験が行われました。

快晴のもと、13人が参加し、間伐体験の後には、物部町別府の農林漁業体験実習館で、豆腐造り体験が行われました。参加者は、おいしく出来上がった豆腐に舌つづみを打ち、満足そうでした。